

刻石流水

京都府立東宇治高等学校

第1学年 学年通信

第 10 号

令和7年3月19日

～受けた恩義は心の石に刻み、施したことは水に流す～



学年部長 川越 俊輝

あなたは今、何に挑戦していますか？

アルベルト・アインシュタインのある講義の板書 $9 \times 1 = 9$, $9 \times 2 = 18$, $9 \times 3 = 27$, $9 \times 4 = 36$, $9 \times 5 = 45$, $9 \times 6 = 54$, $9 \times 7 = 63$, $9 \times 8 = 72$, $9 \times 9 = 81$ 最後に『 $9 \times 10 = 91$ 』と書いた。多くの生徒は、この回答が誤りであるとミス进行を嘲笑った。アインシュタインは教室が静まるのを待ち、こう語った。「私は10個の問題のうち9個正解することができた。しかし、このことを称賛するものはいない。その一方で、1つの誤りをからかい、笑った。これは、人の成功には気が付かず小さな間違いに敏感になり、みんなで指摘する社会構図そのものである。間違いは1つのプロセスであり、間違いを犯さない唯一の人は“何もしない人”だ。」何もしない人は間違えることもないが、当然学ぶこともない。能力の伸長を目指すどころか、衰退の道を進む。「何もせず、挑戦していない自分に気付いていない」状態はさらに危険である。あなたは今、何に挑戦していますか？

1組 長澤 涼介

あっという間に1年が過ぎ去ろうとしていますね。『たくさん挑戦し、たくさん失敗し、共に「青春」していきましょう。』と学年通信4月号に書きました。この1年間で楽しかったことも頑張ったことも悩んだこともあったと思いますが、振り返ってみれば自分自身の成長につながっていると思います。あと2年間、たくさん成長していきましょう。さて、話は変わりますが長澤は“ジョジョの奇妙な冒険¹⁾”という漫画、アニメが好きです。一言で言うとバトル漫画ですが、内容はさておき「結果だけを求めたり、自分ひとりの“勝ち”にこだわるとうつげな最期を迎える」「過程を大事にできたものが最終的に勝利する」という作品です。人は結果だけを求め、近道をしたがるものです。現代社会ではネットの普及、AIの発達などによって「結果だけ」を求めることができてしまう中、「近道をせず、遠回りであっても過程を大事にすること」がいかに大事かを学ぶことができる作品だなあと感じます。どんなに困難な道、目標であってもその目標に向かって頑張り、努力していればいつかはたどり着くはず。結果だけを求めず、時に遠回りすること。これを忘れずにいてほしいと思います。

2組 川本 容子

東宇治高校に入学してから一年が経ちました。中学生の時には知らなかった世界を知り、驚いたことや感動したことがたくさんあったでしょう。日々の高校生活の中で泣いたり笑ったり、さまざまな感情を伴う経験を通して、あなたはどのように成長できましたか？今一度振り返ってみてください。自分を見つめ直すことは、明日の成長につながります。ゆっくりでもいいので歩を進めていきましょう。2年生に進級するみなさんに期待しています。

3組 蔵田 遥

最近、カバにハマっています。

坪内稔典著の「カバに会う」という本がきっかけでした。稔典さんは日本中のすべてのカバに会いに行った方です。この本のあとがきが心に沁みました。読んでください、抜粋します。”カバへの旅とは何だったのか。今にして思えば、それは自分を面白くする企て、であった。私は各地のカバの前で、気分の根っここのよなものをわくわくさせていた。気分が沈滞すると言葉も元気を失う。感性とか思考とかも鈍る。いつのころからか、そのように考えるようになった私は、意図して自分の気分を刺激し、わくわく感を醸そうとした。それが、毎朝必ずあんパンを食べるとか、柿を訪ねるとか、カバに会うという行動になった²⁾”稔典さんのこの文章に触れて、自分の人生の根幹にも「気分の根っこをわくわくさせる」という気持ちが、通奏低音のように響いていることに気づきました。でも、この本に出会わなければ、私はこの気持ちを言語化して認識することができなかったかもしれない。1年間、時に楽しそうに、時に苦しそうに勉強する皆さんの姿を見ました。勉強の醍醐味は、知らなかった・気づかなかった事象に出会うことで、自分の物事に対する認識が変化する楽しさを味わうことにあるのではないかと、思います。やっぱり青春は、勉強だ。

5組 小野 輝弥

1年間お疲れ様でした。様々な環境の変化があったと思いますが、よく乗り越えました！この1年間を振り返って皆さんは成長できましたか？大人になるにつれて自分の成長に気づきにくなるものですが、皆さんのことを担任団として見ていて、少しずつ着実に成長していると感じます。勉強や部活動など何でも良いので、この成長を自分自身で楽しんでほしいです！【有限だから最高だ】。緑黄色社会の「恥ずかしいか青春は」という青春を歌った曲のワンフレーズです（最近ハマってます）。あと2年しかない高校生活ですが、あと2年だから良いのかも知れません。有限な時間を無駄にせず、2年生からも頑張りましょう！

6組 谷口 博一

51期生の生徒諸君、一年間よく頑張りました。4月当初の昼休みから、教室を巡回しました。教員が教室に入ると何なに？という空気になりました。咄嗟に、弁当に玉子焼きが入っているかの調査中や。と言いながら、見回りを続けました。そして5月頃になると、生徒の方から玉子焼き入っています。と声をかけてくれるようになり、幸せを感じました。古い日本映画の「幸福の黄色いハンカチ」と場面が重なり、黄色が好きな色になりました。2学期には学校行事で使うクラスTシャツを着ることが出来ます。黄組でなかったのも、モヤッとしていました。しかし、JR新幹線のドクターイエローが引退するというニュースを知り、涙腺が緩みました。還暦を迎えた自分と境遇が重なり、最後の1日まで応援しようと思いました。こんな風に過ごした一年間でしたが、生徒たちが頑張る姿を見て元気をもらっていたのは確かです。ドキドキハラハラの場面があったことも思い出に残りました。

7組 朱 久美子

考えるな。考えろ。

7歳の娘の「好き・嫌い」は、実に自由です。〇〇ちゃんのことが嫌いと言っていたかと思うと、次の日には「ズッ友」になったと報告してきたり。プリキュアが好きだったはずなのに、トリケラトプスにはまりだしたり。考えれば、我々も幼少期は、「なんで」なんて理由もなく、何かを夢中で好きになっていたものです。2年に上がろうとする皆さん。勉強も進路も、この意味もなく「好き」と思える何かが、あなたを次のステージへ突き動かします。仲のいい友達、親、推しのインフルエンサー・・・そんな人の意見も大事ですが、自分の心の声に耳を傾けられていますか。みんなが生きる、この情報の多すぎる社会では、難しいですが、しばし外からの声を遮断して、自分の心の声に耳を傾ける時間も作って欲しいと思います。わけもなく、あなたが心ときめく瞬間は、何ですか。それが決まれば、あとはひたすら、考える、考える、考える。自分のすべきことを、ひたすら考え続ける、のみです。4月からの、真新しい皆さんの挑戦に、大いに期待しています。

1) 荒木飛呂彦著. ジョジョの奇妙な冒険. 集英社. 1987

2) 坪内稔典著. カバに会う. 岩波書店. 2008